

徳島県立板野高等学校

1 学校の概要

① 生徒数

	1年	2年	3年	計
男	98	71	88	257
女	89	99	73	261
計	187	170	161	518



② 校訓 「誠実」「努力」「前進」

③ 環境目標・テーマ

～広げよう、学校と地域の連携で取り組むエコプロジェクト

育てよう、自然を大切に、郷土を愛する生徒づくりを目指して～

- 1 「節電」「ごみ分別」「リサイクル」に取り組み、行動できる主体的な生徒づくり
- 2 地域と共に、学校周辺の環境美化に取り組み、エコプロジェクト実践する学校づくり
- 3 地域に出向いて、河川等の環境保全を通して、専門的な環境学習に取り組む地域に信頼される学校づくり

2 行動方針

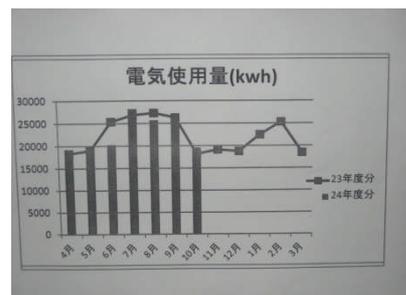
- ① 学校における節電に努めます。
- ② 学校におけるゴミの分別に努めます。
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行います。
- ④ 地域の清掃活動に取り組みます。
- ⑤ 地域の河川における環境学習に取り組みます。

3 行動

- ① 学校における節電に努めます。



節電を呼びかけるシールを貼付



電気使用量の推移をグラフ化

- ② 学校におけるゴミの分別に努めます。



分別ゴミ箱の設置



清掃時に分別を徹底

③ 学校におけるリサイクル活動を行います。

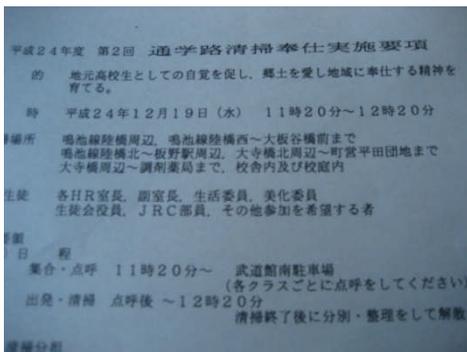


新聞・雑誌を回収

ペットボトルのふた回収

プルタブ回収

④ 地域の清掃活動に取り組みます。(通学路清掃を7月と12月に実施)



12月19日の清掃計画

清掃分担図

⑤ 地域の河川における環境学習に取り組みます。



科学部が地域の河川の水質や周辺の自然環境を調査し、板高祭で展示

4 具体的効果

◆ 電気使用量のグラフを見て節電の意識が高まった生徒がいる。清掃時に、分別できていないゴミを分別しなおすことによって、全員が協力して分別することの大切さに気付く生徒が増加、未分別のゴミが少なくなっている。年2回の通学路清掃のみならず、ボランティアで地域の清掃を行う部が出てきている。科学部は地域の自然環境を調査することで環境保護に取り組み、またその研究発表によって他の生徒や職員もエコロジーの意識を高めることができたと思われる。

5 改善点

◆ 生徒会役員はペットボトルのキャップ等のリサイクルについて理解が進んでいるが、一般生徒の間ではまだ認識が十分と言えないので、今後の広報活動に力を入れていかなければならない。まだ、一部の生徒がゴミや飲み物容器等を放置することがあるので、生徒一人一人の意識を高めていく必要がある。そのためにどのような活動をすべきか、生徒会や美化委員会を中心に考えていきたい。